

GroupSession byCloud v4.8.1 機能追加/変更ダイジェスト

2018年5月8日

日本トータルシステム株式会社



稟議リニューアル1

画面デザイン変更

画面デザインがペイン表示になります。

旧画面イメージ

タイトル	申請者	申請日時	最終処理日時▼
Webメール・Webサービス利用申請書	山田 太郎	2011/08/12 17:39:00	
外部委託サービス利用申請	山田 太郎	2011/08/12 17:39:00	
コンピュータ機器 貸与申請書	山田 太郎	2011/08/12 17:39:00	
私物記憶媒体及び機器の使用許可申請書	山田 太郎	2011/08/12 17:39:00	
書籍購入申請	山田 太郎	2011/08/12 17:39:00	
Webメール・Webサービス利用申請書	山田 太郎	2011/08/12 17:39:00	
外部委託サービス利用申請	山田 太郎	2011/08/12 17:38:59	
コンピュータ機器 貸与申請書	山田 太郎	2011/08/12 17:38:59	
私物記憶媒体及び機器の使用許可申請書	山田 太郎	2011/08/12 17:38:59	
書籍購入申請	山田 太郎	2011/08/12	



新画面イメージ

タイトル	申請者	申請日時	受信日時▲
残業申請	石橋 鈴音	2016/04/27 10:00:43	2016/04/27 10:00:43
外部委託サービス利用申請	山田 太郎	2011/08/12 17:38:56	2016/04/27 10:07:02
貸借管理者 変更申請	吾妻 育男	2016/04/27 10:05:01	2016/04/27 10:07:58
鍵貸与申請書	轟中 隆男	2017/10/05 12:01:42	2017/10/05 13:15:35

ワイド画面に合わせて視認性・操作性を向上しております。



稟議リニューアル2

内容カスタマイズ機能

稟議内容のフォーマットを自由に設定する事ができます。

旧画面イメージ

カテゴリ※	未設定 ▼
テンプレート名※	残業申請(予定)
タイトル	残業申請(予定)
フォーマット※	<ul style="list-style-type: none">■ 残業予定日 年月日()■ 残業予定時間帯 時分 ~ 時分■ 残業予定時間 時間 分■ プロジェクト名■ 作業内容■ 残業理由 <p>※注) 休憩時間 02:00-03:00</p>



新画面イメージ

申請内容
要素をドラッグする
コメント
テキスト入力
テキスト入力(複数行)
日付入力
数値入力
ラジオボタン
コンボボックス
チェックボックス
ユーザ選択
グループ選択
ブロック
表
枠内に要素をドロップする

ドラッグ&ドロップ操作で自由に配置が可能です。



稟議リニューアル2

作成イメージ

カテゴリ	賃借		
テンプレート名	s03_情報資産持ち込み/持ち出し申請書		
申請ID	汎用申請ID		
タイトル	s03_情報資産持ち込み/持ち出し申請書		
添付			
備考			
申請内容			
情報資産名称	テキスト入力 <input type="text"/>		
自社管理No.	テキスト入力 <input type="text"/>		
持込/持出責任者	テキスト入力 <input type="text"/>		
持出/持込元	テキスト入力 <input type="text"/>		
住所	テキスト入力 <input type="text"/>		
使用者 部門	グループ選択 <input type="text"/>	使用者	テキスト入力 <input type="text"/>
責任者 部門	グループ選択 <input type="text"/>	責任者	テキスト入力 <input type="text"/>
管理プロジェクト	テキスト入力 <input type="text"/>		
持出/持込期間 From	日付入力 2017/12/20	To	日付入力 2017/12/20
持出/持込する理由	テキスト入力 <input type="text"/>		
機器に導入されている情報資産	コメント <input type="text"/>		

テンプレート要素

- ・テキスト入力（複数行）
- ・日付入力
- ・数値入力
- ・ラジオボタン（単一選択）
- ・チェックボックス（複数選択）
- ・コンボボックス（プルダウン）
- ・ユーザ選択
- ・グループ選択
- ・ブロック
- ・表



稟議リニューアル3

申請経路の多様化

複雑な経路を設定する事ができます。

経路テンプレート画面

経路名称※

経路要素をドラッグする

- 任意設定
- ユーザ指定
- 役職指定
- ユーザ選択
- グループ選択
- 上長指定

承認経路

枠内に要素をドロップする

最終確認

枠内に要素をドロップする

経路設定

- 直列経路 (従来の通り)
- 並列承認 (複数一致、割合承認)
- 上長承認
- 条件分岐 (所属、役職、数値)

申請時の金額が100万円以上の場合は
社長承認が必要といった分岐が可能です。



稟議リニューアル4

承認機能の改善

企業風土に合わせた承認を行う事ができます。

稟議承認画面

状態	申請中		
タイトル	交通費		
申請者	山田 太郎		
作成日時	2017/05/25 00:00:00		
内容	交通費申請です		
添付			
状態	ユーザ名	コメント/確認時添付	確認日時
	この経路は 鈴木 園子 により後戻り指示されました。 山田 次郎 出張中のため後戻りました。 係長		
	承認条件:全員の審議		
	総務 鈴木 一郎	交通費確認できました。経路として本社→新千歳空港 (バス) →羽田空港 (飛行機) →支社 (電車) の乗り継ぎです。 隠す	2017-05-29 13:30
	佐藤 真一		2017-05-29 13:30
	この経路は 鈴木 園子 により後戻り指示されました。 山田 三郎 出張中のため後戻りました。		
	この経路は 鈴木 園子 により後戻り指示されました。 承認条件:全員の審議		
	グループセッション事業課 鈴木 次郎	鈴木次郎外出中のため後戻りました。必ず後で確認するようにお願いします。また確認に関しては必ず全員が確認するように！ 隠す	
	佐藤 信二 所長	佐藤所長確認不可のため後戻りました。後ほど確認のほどをよろしくお願いします。 続きを表示 交通費経路.jpg(5.6KB) 費用.pdf	

決裁種類

- ・承認
- ・却下
- ・差し戻し
- ・取り下げ
- ・スキップ承認
- ・代理承認
- ・後戻り指示
- ・承認時経路変更

後戻り指示とは本来の承認者をスキップして上位経路の承認者が引き上げ承認する事が出来ます。



稟議リニューアル5

申請ID機能

テンプレート毎に申請IDを自動で設定できます。

タイトル※	交通費申請
フォーマット	連番値は必ず使用する必要があります
	文字入力 ▼ KOTUHI <input type="button" value="+ 追加"/>
	年4桁 ▼ <input type="button" value="× 削除"/>
	月 ▼ <input type="button" value="× 削除"/>
	日 ▼ <input type="button" value="× 削除"/>
	文字入力 ▼ - <input type="button" value="× 削除"/>
	連番値 ▼ <input type="button" value="× 削除"/>
パターン: KOTUHIYYYYMMDD-No 例 : KOTUHI20171220-0	
連番設定	0埋め桁数: <input type="text" value="3"/> 桁
	現在の連番値: 0 <input type="button" value="編集"/>
手入力変更	リセット期間: <input checked="" type="radio"/> リセットしない <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日
	※申請画面内での手入力変更を許可するかの設定です <input checked="" type="radio"/> テンプレート毎に設定 <input type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない

フォーマット要素

- ・文字入力
- ・連番値
- ・年4桁
- ・年2桁
- ・月
- ・日

フォーマットを組む事で複雑なIDを設定する事が可能です。



稟議リニューアル6

その他

- 稟議一括CSV出力

検索画面で稟議の内容を
CSV出力できるようになりました。

- カテゴリ機能

稟議テンプレートカテゴリ分けできるようになりました。

また、閲覧・編集権限を設定する事が出来るようになりましたので
使用者を制限して運用する事が出来ます。

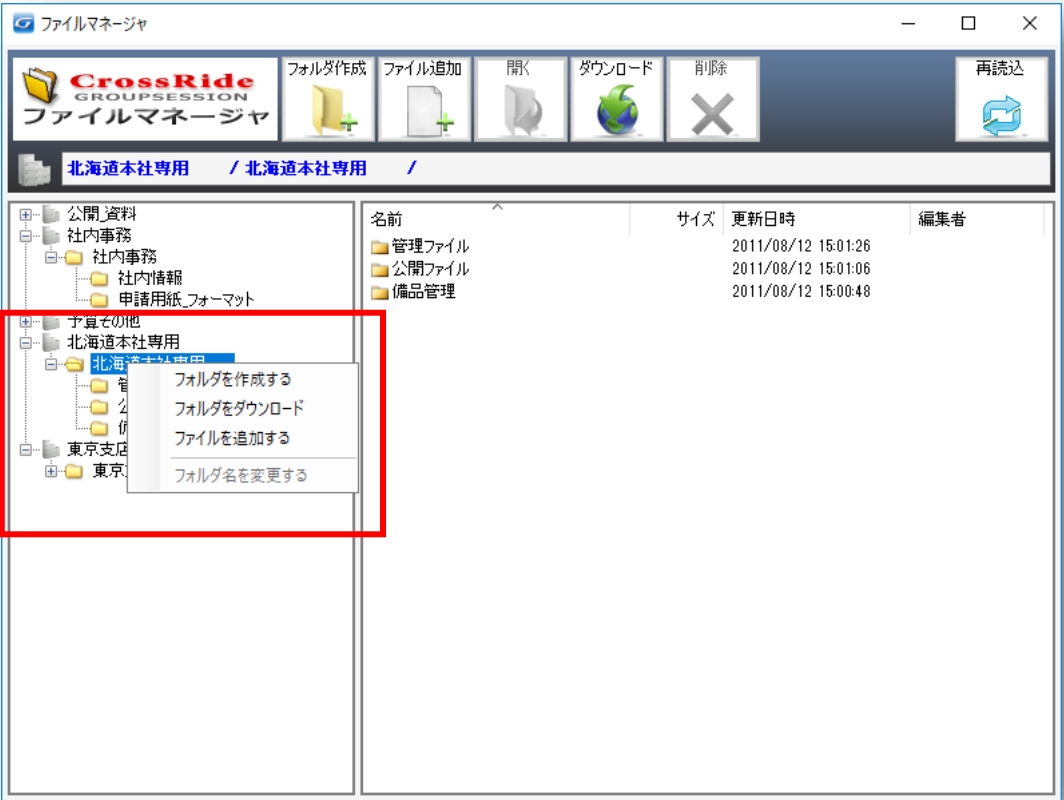
今後の開発予定

- PDF出力機能（単票・一括）
- 他機能との連携
- 自動計算機能
- 集計機能



CrossRide

キャビネット一括ダウンロード



ファイル管理のファイルはWEBシステムの仕様上、ブラウザから一括ダウンロードする事が困難でしたがWindowsのデスクトップクライアント「CrossRide」のファイルマネージャー機能を利用する事によって実現可能になりました。